

協働のまちづくり支援金 モデル的事業 提案書（新規事業）

団体名：清見町まちづくり協議会

<b>1. モデル的事業実施の背景</b>	
まちづくりの目標・目指す姿など	
<p>清見町まちづくり協議会の目標は「住みやすく 笑顔でみんながいきいきと暮らせるまち」を掲げ、災害や犯罪のない安心・安全に暮らせる環境整備の推進に努め、地域住民の暮らしが健康で一人ひとりが輝き、将来に夢を持って暮らせるまちを推進する。</p>	
まちづくりの課題	
<p>近年、立て続けに4回の甚大な災害に見舞われている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成11年9月に台風による集中豪雨で小鳥川流域の大災害となった。</li> <li>2) 平成16年8月には、集中豪雨で川上川が氾濫。</li> <li>3) 平成26年8月、前線の影響で馬瀬川上流、川上川が氾濫。</li> <li>4) 平成26年12月、大雪のため清見全域で倒木が相次ぎ停電。</li> </ol> <p>このように、災害が連続して発生し、橋の流失、床上浸水、田畑への流入、集落の孤立、避難生活など発生している。</p> <p>清見町は、2つの峠と3つの河川がある。また、幹線道路が郡上方面、荘川方面に分かれ、広範囲に集落が点在している。</p> <p>地域の懇談会や市長と語る会などでは、防災環境の整備、住民の防災意識向上、防災の取り組みに向けた体制整備など、地域事情を考慮した防災の取り組みが課題となっている。</p>	
<b>2. モデル的事業の内容</b>	
事業名	地域防災対応促進事業
対象、方法など	<p>対 象 13町内会（清見町全域）</p> <p>実施期間 平成30年度～平成32年度</p> <p>方 法 ①防災の取り組みをコーディネートする体制の整備（平成30年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の被災地域、消防団、防災士などによる検討チームの設置</li> <li>・防災備品の貸与方法の検討</li> <li>・防災訓練メニューの検討</li> <li>・町内間連携訓練の検討 など</li> </ul> <p>②防災環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全町内会に防災備品（無線機、投光器、発電機）を貸与（平成30年度）</li> <li>・配備時には全町内会を対象とした講習会を開催。また、各町内では、自主防災組織を中心とした講習会を行うことにより、町民の誰でもが使用できるようにする。</li> <li>・無線機は各町内の地域内の交信範囲を確認し、可視化し地域で共有する。</li> <li>・整備が必要な防災資材の検討</li> <li>・防災備品の使用（活用）マニュアルの作成</li> </ul> <p>③地域住民の防災意識の向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みが進んでいる町内会をモデルとして、取り組みを周知する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内別訓練の実施（検討チームが立案した訓練メニューの中から、各町内会で訓練を実施。平成31年度までにはすべてにおいて実施）</li> <li>・町内間連携訓練（清見地域内連携訓練）の実施（平成32年度）</li> <li>・訓練結果の共有（訓練の状況の情報発信。訓練結果を取りまとめて次年度の取り組みや訓練方法の見直しにつなげる）</li> </ul>
先駆的、効果的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に備品を配置するだけでなく、地域住民が使用できるよう講習会の開催や、多様な訓練メニューにより活用が図られるとともに防災意識の向上につながる取り組みであること</li> <li>・清見地域内の全町内会に共通した備品を配置（貸与）することにより、災害時に他の地区からの応援者が戸惑うことなく活用できることや、他地区の活用方法を参考にした訓練に取り組みやすくなること</li> <li>・上記により、地域の自主的な訓練を助長し、訓練内容がより実践的・機能的なものとして図られ、住民個人の防災意識も高められ、ひいては地域防災の意識の向上へと繋がること</li> </ul>
<h3>3. モデル的事業の効果の見込み</h3>	
<p>「安心・安全」のまちづくりは、どの地域でも重要課題として挙げており、有事の際に対応ができるよう体制整備と必要最低限の防災機器等を備えることにより町内住民も安心して避難できるとともに、防災活動に取り組む事ができる。</p> <p>住民一人一人が「自分は何ができるのか」ということを意識できるようにして、自助、共助の取り組みを進め、町内会単位の防災の取り組みから町内間などの地域内の防災体制を整えていくことができる。</p>	